

# Weekly Accounting Review

2010年7月30日 (No.066)

株式会社エスネットワークス

会計・監査・税務に関する最新情報をお送りします。

【今週号のトピック】

■ 会計／非上場会社の会計基準に関する懇談会（第5回）の検討結果の公表について

【先週の特別損益等 I R】

■ 株式会社河合楽器製作所：資産除去債務の計上

■ 岩井コスモホールディングス株式会社：負ののれん発生益の計上

【先週の会計監査人交代等 I R】

※先週は会計監査人交代等 I Rは御座いませんでした。

## 1. 非上場会社の会計基準に関する懇談会（第5回）の検討結果の公表について（7月30日）

非上場会社の会計基準に関する懇談会（第5回）が開催され、第5回までの懇談会の検討結果が公表されました。

<https://www.asb.or.jp/asb/top.do>

当該検討結果の概要は以下の通りとなっております。

【基本的な視点】

非上場会社は極めて範囲が大きいため、区分して議論する必要性があり、中小企業の会計基準は理解しやすく、作成事務が最小限で対応可能な簡素なものとするのが求められる

【会計基準の国際化との関係性】

中小企業の実態から、中小企業の会計基準は国際基準の影響を受けないものとするべき

【非上場会社の分類と適用される会計基準】

① 金融商品取引法の対象となる非上場会社

⇒従来通り上場会社に用いられる会計基準を適用

② 金融商品取引法適用会社以外の会社法上の大会社

⇒会計監査人による監査が義務付けられているため、上場会社に用いられる会計基準と整合性を図るべきであるが、上場会社よりは利害関係者が少ないと想定されるため、今後上場会社に用いられる会計基準を基礎に一定の会計処理及び開示の簡略化を検討していくべき

③ 会社法上の大会社以外の会社

⇒一定の区分を設け、その区分に属するものについては中小指針とは別に新たな指針を作成する

## ショート・コメント

上記報告書を踏まえ、新たな会計基準が作成・適用され、より中小企業の実態を表すことを可能にする

ことが望まれます。

## 2. 先週の特別損益等 I R (7月20日～7月23日)

### **(1) 株式会社河合楽器製作所 (証券コード7952、東証一部) : 資産除去債務の計上【7月21日】**

株式会社河合楽器製作所は資産除去債務に関する会計基準の適用に伴い、運営する音楽教室における賃貸借契約終了後の原状回復義務に係る費用として、544百万円を特別損失に計上することとしました。

なお、株価は発表日直前終値 155 円から発表日翌日終値 150 円と 5 円下落しております。

### **(2) 岩井コスモホールディングス株式会社 (証券コード8707、東証・大証一部) : 負ののれん発生益の計上【7月21日】**

岩井コスモホールディングス株式会社は 2010 年 4 月 16 日にコスモ証券株式会社の全株式を取得し、完全子会社化したことに伴い、時価純資産額 22,249 百万円が取得原価 17,124 百万円を上回ったことに伴い、負ののれんが 5,124 百万円発生し、当該負ののれんを特別利益に計上することとしました。

なお、株価は発表日直前終値 605 円から発表日翌日終値 599 円と 6 円下落しております。

#### **【本レポートに関するお問い合わせ先】**

株式会社エスネットワークス 公認会計士 橋本 卓也

Tel:03-5573-4661 / [t-hashimoto@esnet.co.jp](mailto:t-hashimoto@esnet.co.jp)